清掃 • 消毒

感染症の多くは手を介しての感染です。このため、**手が頻回に触れる所を重点的に清掃・** 消毒することが必要です。

また、**毎日清掃を行う所、定期的な消毒や清掃を行う所を決め、**効率的な清掃を行い施設の清潔を保ち、感染対策に取り組みましょう。

~清掃時は、換気を行い、マスク、ガウン、手袋を着用しましょう~

1 毎日行う清掃・消毒

	場所(箇所)	清掃·消毒方法
1	【トイレ】ドアノブ、取手、便座、便器のふた、蛇口	消毒用エタノールで清拭
2	蛇口・ドアノブ、手洗い場の蛇口、手すり、リハビリ 道具、椅子の背、テーブル など、多数の手が触れる 箇所	住宅用洗剤を利用し、布による拭き取り清掃
3	浴室及び浴室の共同使用物	風呂用洗剤による清掃、温水 で洗い流し、乾燥させる。
4	床	住宅用洗剤を利用し、モップ による湿式清掃

2 定期的な消毒



	場所(箇所)	消毒方法
	蛇口・ドアノブ、他のドアノブ、手洗い場の蛇口、	① 0.02%次亜塩素酸ナトリ
	手すり、リハビリ道具、椅子の背、テーブルなど、	ウムに浸した布で拭く
1	多数の手が触れる箇所	又は
		② 70%アルコール消毒剤に
	*定期的な床の消毒は必要ありません。	浸した布で拭く

注意点

【消毒薬について】

- 消毒液の温度、時間、濃度を確認しましょう。
- 血液や体液などの有機物で汚染されている場合は、洗浄後に消毒しましょう。
- 感染症の発生時・流行時は、手が頻回に触れる箇所のこまめな消毒が必要です。 (一日に1回以上)(ノロウイルスの場合、次亜塩素酸ナトリウム使用)
- <u>吐物、汚物がついた床等は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムに浸した布で拭く必要があり</u>ます。
- 日常的に、消毒薬を散布したり、<u>噴霧することはやめましょう</u>。 【その他】
- 使用後のモップや拭き布の洗浄、**乾燥**、管理を徹底する。
- **使用場所ごと**にモップや拭き布**を区別する**。
- 清掃後は、よく手を洗い、手指衛生の保持に心がけましょう。

*電解水等を利用した消毒用品の利用については、利用前に性能や管理・使用方法について、 各施設で十分確認しましょう。(電解水は有機物の存在で急速に効果を失います。このため、床 や壁などに電解水を直接用いる方法は効果が不十分な場合もあります。)

消毒液(次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法)作り方

0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方

(定期的な消毒の際に使用)

原液の濃度が 1%の場合	原液 60ml を	水3Lに入れる
原液の濃度が 6%の場合	原液 10ml を	水3Lに入れる
原液の濃度が 12%の場合	原液 5ml を	水3Lに入れる

0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方

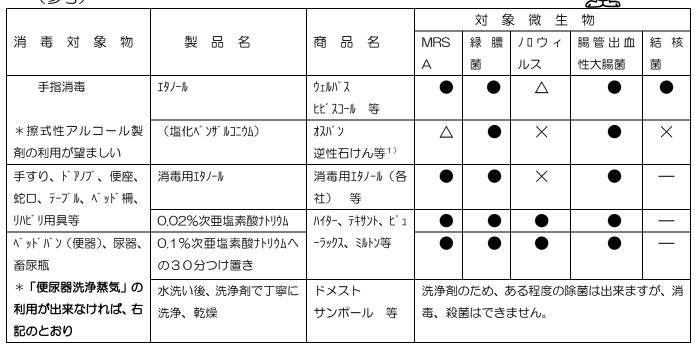
(吐物等の排泄物処理の際に使用)

原液の濃度が 1%の場合	原液 330ml を	水3Lに入れる
原液の濃度が 6%の場合	原液 50ml を	水3Lに入れる
原液の濃度が 12%の場合	原液 25ml を	水3Lに入れる

ポイント

- 〇次亜塩素酸ナトリウムは時間が経つにつれ、効果が減ってきます。液は冷暗所 に置き、その日のうちに使い切れるようにしましょう。
- 〇ペットボトルを利用して作る時は、ペットボトルのキャップ 1 杯が約 5ml です。誤って飲まないように、ラベルを貼るなどの注意が必要です。

(参考)



- ●有効(使用可)、△十分な効果が得られないことがある(使用注意)、×無効(使用不可)
- 1)逆性石けんは、石けんとの混合により効果が低下するので十分に石けんを洗い流した後に使用してください。
 - * 結核については、物品の消毒は通常必要ありません。
 - * 利用前に、商品の説明書にて確認をしてください。